

日本のリーダーシップで、効果的な化学物質管理の新たな国際枠組の実施促進を目指します。

1. 事業目的

- ・世界化学物質アウトLOOK第2版（GCO II）で把握されたギャップ（WSSD2020年目標未達成部分）を踏まえ、より意欲的な行動を促進。
- ・化学産業の急速な拡大が続いている現状を踏まえ、我が国のリーダーシップの発揮により、国際的な化学物質管理が進展することにより、我が国の国際的なプレゼンスと日本の化学産業の競争力の向上を図る。

2. 事業内容

「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ（SAICM）」の2020年以降の新たな枠組（ポストSAICM）が採択される予定。

- ・ポストSAICMのスムーズな立ち上げと、実施促進のため、事務局の運営経費の一部を支援する。
→日本のリーダーシップの発揮により国際的なプレゼンスの向上を企図。
- ・我が国の主要な貿易相手国であるアジア太平洋地域において、日本の制度と親和性のある化学物質管理を促進するための活動を支援し効率よい調和を図る。
→途上国、とりわけアジア地域の化学物質対策能力が向上する。
- ・未規制のペルフルオロ化合物（PFAS）※の管理と安全な代替物質への移行等の課題について、グローバルな対応に、産業界の対応状況の適切な反映を企図。
→新たな政策課題等の重要施策が確実に進展する。

※PFASのうち、PFOS・PFOA等については我が国の一般環境中でも検出。POPs条約等で国際的な管理が強化される中、代替物質への転換努力が進められている。

3. 事業スキーム

- 事業形態 任意拠出金
- 拠出先 国際機関
- 実施期間 令和2年度～令和4年度

4. 事業イメージ

